

南日本小学生プログラミング 富田さん(広木5年) 全国へ



手話を学べるアプリを紹介した広木小学校5年の富田純白さん＝15日、鹿児島市の県医師会館

南日本小学生プログラミング大会(南日本新聞社主催、鹿児島信用金庫、南日本情報処理センター協賛)の最終選考会が15日、鹿児島市の県医師会館であった。最優秀賞に広木小5年の富田純白さんが選ばれ、全国大会出場を決めた。「みんなの mirai」をテーマに、応募があった全54作品から優秀賞に選ばれた10人が、自作のアプリを紹介した。

入力した文字と同じ指文字を画面に表示することで、手話を学べるゲームを発表した。「4カ月かけた作品。遊んだ人に手話に興味を持ってほしい」と喜んだ。

特別賞の鹿児島信用金庫賞は池田学園池田小6年の是枝旬さん、南日本情報処理センター賞は隈之城小6年の中島虎太郎さん。全作品から選ぶ審査員特別賞には、永利小1年の西垣貴心さんが輝いた。

大会は5回目で、県内27校から応募があった。全国大会は来年3月2日、東京で開かれる。(出水 柊)